

# 平成 22 年度 社会福祉法人芙蓉会事業計画

## 法人理念

### 「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」

社会の人々の安心と安全な生活を実現するためには、誰もがその人らしく安心して充実した生活を送れるような社会づくりを目標として、お互いに手を携え助け合い生活することが重要であり理想とされています。

しかし、日本の現状はどうでしょう。国家財政の危機的状況を背景として、失業者の増加、生活保護対象者の増加、企業倒産の増加と悪い状況が目立っています。日本の労働人口が減少していくなかで、現在も福祉人材の確保が難しい状況ですが、これからある程度景気が回復していくと、他産業あるいは同業者での人材獲得が始まることとなります。

福祉施設職員に「やりがいを感じる時」を質問すると「利用者から感謝の言葉を聞いたときに充実を感じる」「専門職として自分自身が向上していくとき」「自分の仕事に対して上司から厚い評価がある」「ライフワークとして一生続けていけるような仕事をしたい」との意見があります。福祉施設経営者として、こうした職員の意識を参考にいろいろな角度から魅力ある職場づくりに取り組む必要があります。

富士市の福祉政策で求められている施設で「駿河荘」の代替の養護老人施設、80 人の特養、地域密着型の 30 人程度の施設の建設希望施設を求めています。これは今後の法人課題とします。

今年も法人として福祉事業の推進のために、法人役員、職員協力し法人の使命を推進しなければなりません。そして、民間社会福祉活動の役割を果たすべく社会的支援を必要とする人々への支援、地域福祉活動、社会貢献等に重点をおき国・県・市町村関係機関との連携を密にしながら、地域社会への事業を展開することを基本方針とし、3 園の事業を推進します。

## 法人本部

当法人は、使命と役割に沿った経営を通じて社会・地域における福祉の発展・充実に努め、地域社会との信頼性を一層深めるように推進致します。

社会的ルールの遵守（コンプライアンス）、説明責任（アカウンタビリティ）の徹底、組織統治（ガバナンス）の確立により、良質かつ安心・安全なサービスが提供できる組織づくりを行い、社会福祉の担い手として高い信頼性を得るよう努力致します。

## ひまわり園

平成 22 年度は基本目標に基づき、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して推進します。

## ひろみ

平成 22 年度は基本目標に基づき、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働を推進します。

## 恩賜記念みどり園

社会福祉法人芙蓉会創立の理念に沿い、乳幼児の人格発達における乳児期の重要性に鑑み、乳児 30 名（暫定定員 29 名）の養育を行います。また、社会福祉法及び児童福祉法に則り、下記基本目標や実施目標を中心据え、事業を進めます。特に「心を育てる養育」の充実について、生後 6 カ月までの児童養育の見直しと小規模ケアへの移行準備、感染症対策等について強化すると共に、年齢要件の緩和に伴い 2 歳以上の児童養育についても万全を期すよう努力し、早期家庭復帰が出来るよう家庭支援専門相談の充実を図ります。

## 特別養護老人ホームみぎわ園

『隣人愛』の法人理念の下、入所在宅各々の介護サービスを提供するに、今何を私たちに求められているのかを検証し、ご利用者個人の尊厳を保ちつつ、一人ひとりのニーズ、一人ひとりに「やる気を起こさせる」それに応える介護支援を実践します。「より丁寧な介護（ケア）」に重点を置き、信頼される介護サービス提供事業者として地域に貢献できる施設づくりに努めます。特養待機者も全国で 42 万人とも言われ、富士市に於いても 466 人と私たち介護の手を待っている状況にあり、介護サービスの提供種別と内容を定めつつ今後予想される介護難民解消に向け、国の施策、時代の趨勢を見極めながら、次なる介護事業の計画立案、又これら実践にむけた介護職員の確保と資質の向上、人事管理を包括した「キャリアパス」プランの検討を進め整備を図ります。